



金沢ミュージアム+

時を超え、
空間を越えて。

金沢の多彩なコレクションが
あなたのもとへ。



デジタルのチカラで
見て 触れて 感じて

<https://kanazawa-mplus.jp>



金沢市の デジタルミュージアム の取り組みについて

金沢市文化スポーツ局文化政策課
振興係 主査 宮下 裕樹

2023/11/11

デジタルアーカイブ学会

第8回研究大会「企画セッション」

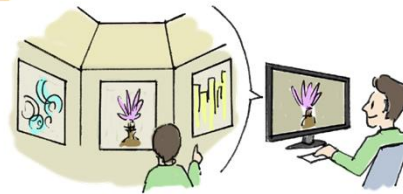
会場：金沢未来のまち創造館

金沢市デジタルミュージアム構想

■基本方針

1 文化に触れるきっかけづくり

文化に触れる機会を創出
新たな文化体験の提供



文化体験・学べる環境の強化
質の高い文化の発信
本物を鑑賞する機会を増加

2 新たな価値づくり

教育分野での活用
これまでにない文化活動や創作活動
新たなビジネスへの利用

新たな価値の創造



3 持続可能な仕組みづくり

デジタル化による所蔵品の保存と管理
付加価値を生み出し常に魅力的で
あり続ける



文化的・歴史的資源を次代へ継承
デジタル、アーカイブの知識習得
低コストによる運用

金沢市デジタルミュージアム構想

■ デジタルアーカイブの整備 ＜アーカイブ化の整備基準＞

1 所蔵品のデジタル化

◆ 計画的、段階的に整備、更新

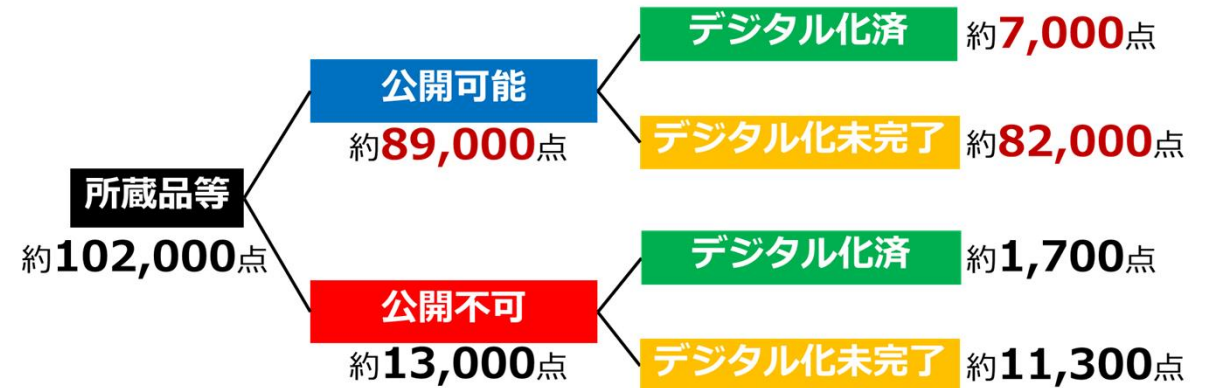
◆ 高品質なデータを整備

解像度600dpi以上を推奨

デジタル化済の所蔵品も必要に応じて再撮影

◆ アナログ資料のデジタル化（原版も保存）

◆ 文化財、史跡のデジタル化についても今後検討



所蔵品のデジタル化の整備状況（金沢21世紀美術館を除く）

対象施設（17施設）

<u>歴</u> <u>史</u>	寺島蔵人邸、金沢ふるさと偉人館、金沢くらしの博物館、 鈴木大拙館、前田土佐守家資料館、金沢市老舗記念館
<u>美術</u> ・ <u>工芸</u>	金沢卯辰山工芸工房、金沢能楽美術館、中村記念美術館、 安江金箔工芸館、金沢湯涌夢二館
<u>文</u> <u>学</u>	泉鏡花記念館、徳田秋聲記念館、室生犀星記念館
<u>建</u> <u>築</u>	金沢湯涌江戸村、谷口吉郎・吉生記念金沢建築館
<u>音</u> <u>楽</u>	金沢蓄音器館

※金沢21世紀美術館は、令和7年度以降に追加

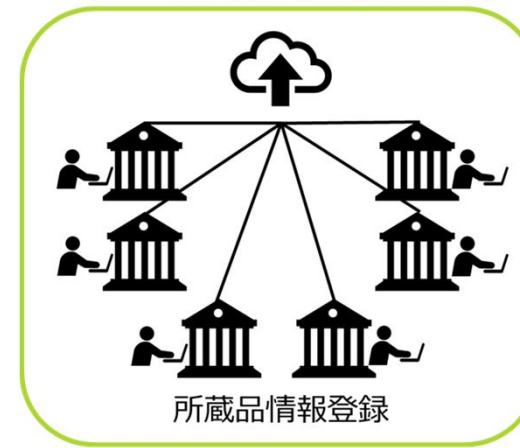
金沢市デジタルミュージアム構想

- デジタルアーカイブの整備
＜アーカイブ化の整備基準＞

2 アーカイブシステムの導入

- ◆ 各施設共通の管理システムの導入
- ◆ 項目（メタデータ）の整理
学芸台帳からの移行
マッピング・シンタックスの整理
- ◆ 学芸員への管理権限の付与
所蔵品の登録・修正・公開設定 等
- ◆ API等を用いた多様な連携
金沢市デジタルミュージアム、国システム

アーカイブシステム



発信・検索ポータルサイト



金沢市デジタルミュージアム構想

- デジタルアーカイブの整備
　　＜アーカイブ化の整備基準＞

3 データ利用のルール化

- ◆ 金沢市オープンデータ利用規約に準拠

著作権意思、出典の表示、第三者の権利 等

- ◆ CCライセンス

表示、非営利、改変禁止、継承の4条件を組み合わせて、
6種類のライセンスを設定



いくつかの権利の主張

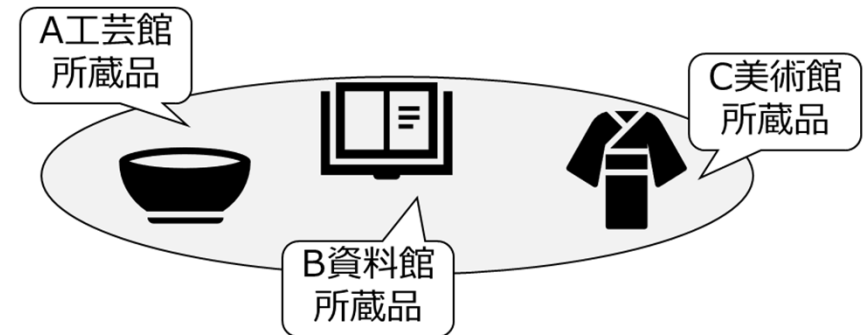
金沢市デジタルミュージアム構想

■ デジタルミュージアムの構築

＜ミュージアム構築・運営のガイドライン＞

1 魅力的な発信の実現

- ◆ デジタルの特性を活かした発信
 - 各施設からのピックアップ展示
 - 新たな展覧会の開催
- ◆ 効果的な技術の導入
 - 3DモデルのAR化



画像データ

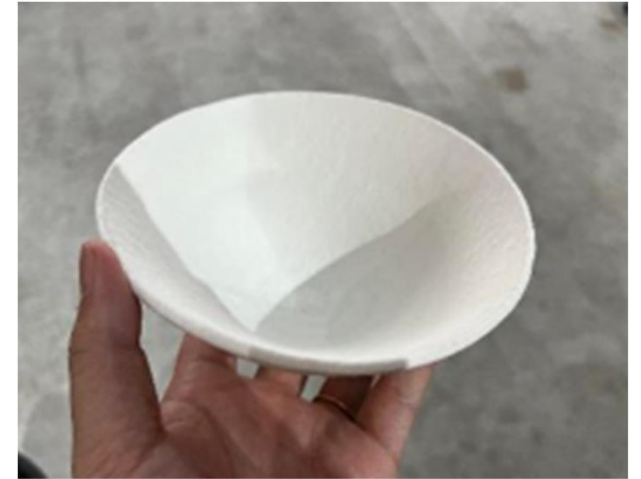


AR

金沢市デジタルミュージアム構想

■ デジタルミュージアムの構築

＜ミュージアム構築・運営のガイドライン＞



2 コンテンツの活用

◆ 教育・研究面での利活用

作品の細部、底部等を確認可能、新たな発見 など

◆ 新たな価値創造に向けた利用

3Dプリンターによる複製

AR化された作品との撮影

◆ デジタルデータを活用した商品・サービスの開発

金沢市デジタルミュージアム構想

■ デジタルミュージアムの構築

＜ミュージアム構築・運営のガイドライン＞

3 持続可能な運営

- ◆ コンテンツとして確立
- ◆ 保存・展示だけでなく、多分野での利活用の推進

運営方法

- ・ 自律性のある多様な主体が参画
- ・ 柔軟な発想による革新的な文化活動と高い付加価値の創出

金沢市デジタルミュージアム運営委員会

1. 目的

「金沢市デジタルミュージアム構想」（令和5年3月策定）に基づき、市文化施設の所蔵品をインターネットで公開するデジタルミュージアムを構築し、魅力的な発信の実現やコンテンツの利活用、持続可能な運営について協議することで、文化施設の魅力発信と利用促進に繋げる。

2. 役員（委員7名、監事1名、テクニカルアドバイザー1名）

役職	氏名	所属等
委員長	宮田 人司	一般社団法人CLL 代表理事
委員	青木 千絵	金沢美術工芸大学 准教授 漆彫刻家
委員	在田 有里子	金沢美術工芸大学美術工芸研究所 学芸員
委員	廣川 晶子	国立工芸館 情報資料室 研究員（司書）
委員	福島 健一郎	一般社団法人コード・フォー・カナザワ 代表理事
委員	松田 俊司	金沢未来のまち創造館 館長（兼）金沢市情報統括責任者
委員	宮永 春香	金沢美術工芸大学 准教授 陶芸家
監事	松本 明	金沢市会計課長
テクニカル アドバイザー	山崎 博樹	知的資源イニシアティブ 代表理事

3. 関係課 デジタル行政戦略課、産業政策課

4. 関係団体 公益財団法人金沢芸術創造財団、公益財団法人金沢文化振興財団

名称



金沢ミュージアム+

<https://kanazawa-mplus.jp>



特徴

- 施設の魅力や新たな体験を提供し続け、“付加価値をプラス”し、施設の来館に繋げる
- 最先端のデジタル技術を導入し、所蔵品に“見て触れて感じる”体験ができる
- 本市が所蔵する美術工芸作品等が、
“施設の垣根を越えて”検索し閲覧できる

スペシャルコンテンツ

- 立体で見る（3D・AR）
- 拡大して見る（高精細画像）
- 音楽を聴く（レコード等の音源）
- 昔の文字を読む（古文書の翻刻文等）
- 展示解説動画（学芸員による解説）

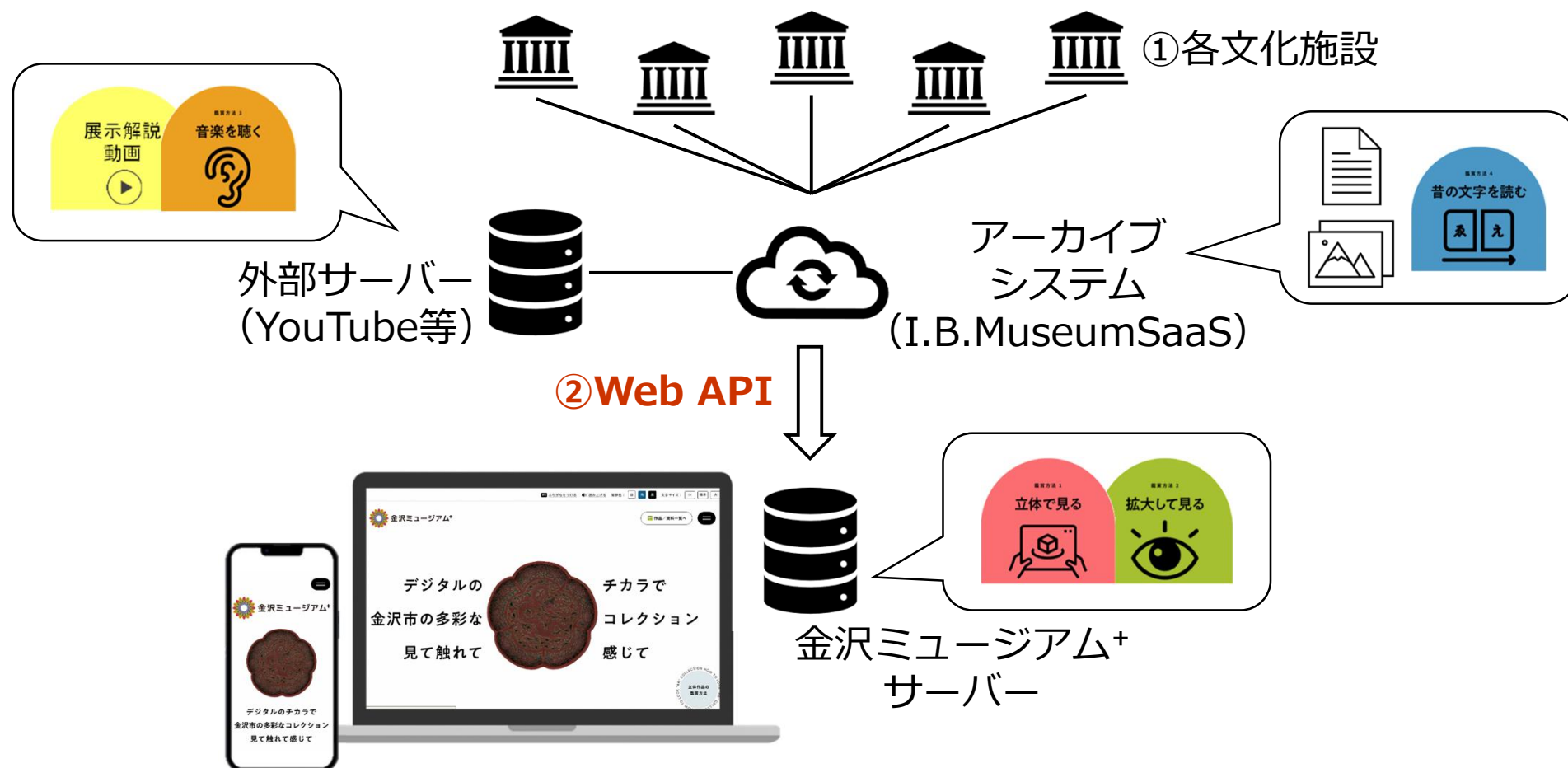


所蔵品アーカイブと金沢ミュージアム+ の連携

Web APIを用いた連携

- ① 各文化施設でアーカイブシステムに所蔵品情報（文字情報、画像等）を登録
- ② 登録された情報をWeb APIで金沢ミュージアム+ へ出力

※スペシャルコンテンツは、種類・容量等に応じて各サーバーで保存





金沢ミュージアム+